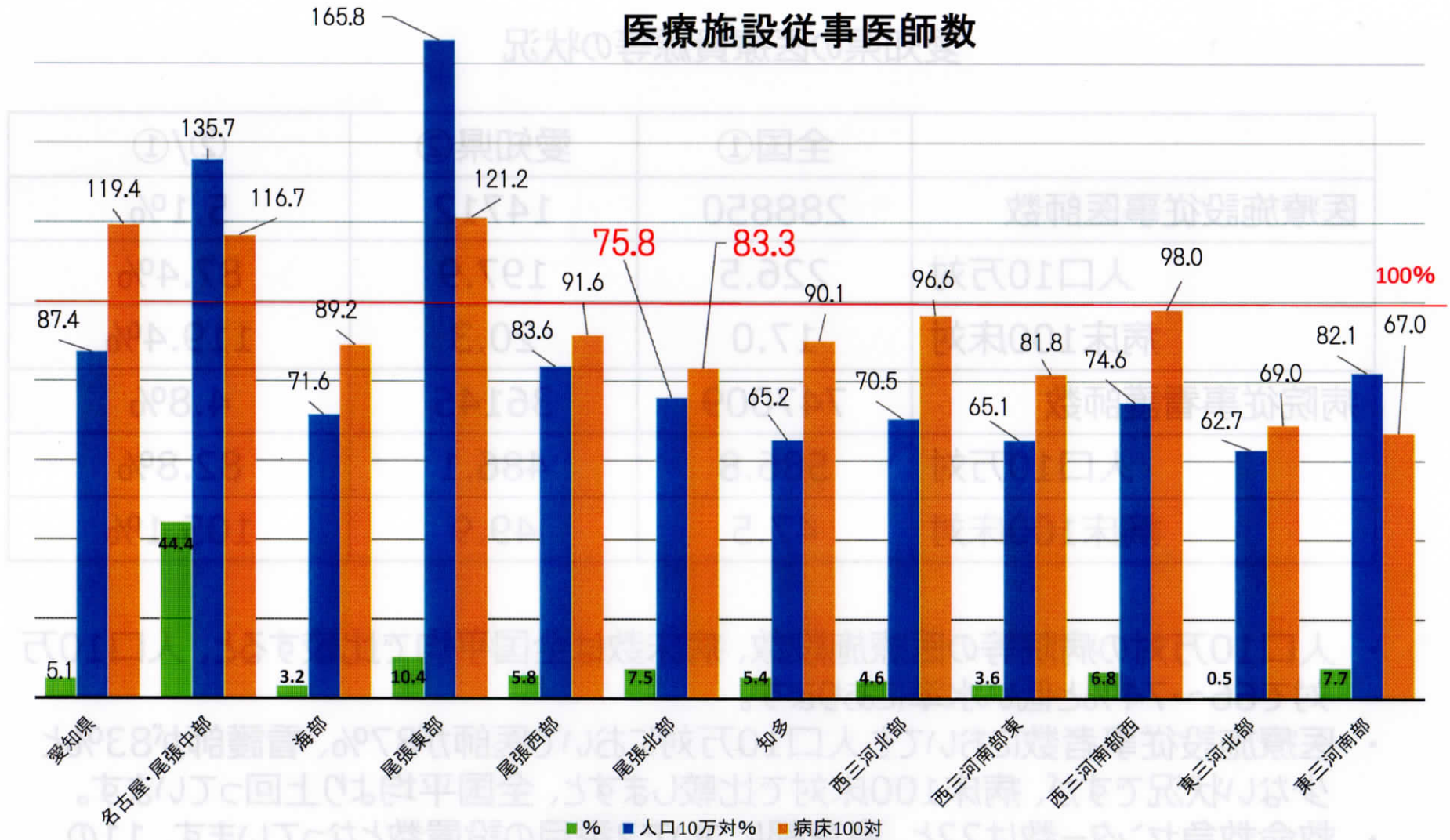


## 愛知県の医療資源等の状況

	全国①	愛知県②	②/①
医療施設従事医師数	288850	14712	5.1%
人口10万対	226.5	197.9	87.4%
病床100床対	17.0	20.3	119.4%
病院従事看護師数	747009	36145	4.8%
人口10万対	586.8	486.1	82.8%
病床100床対	47.5	49.9	105.1%

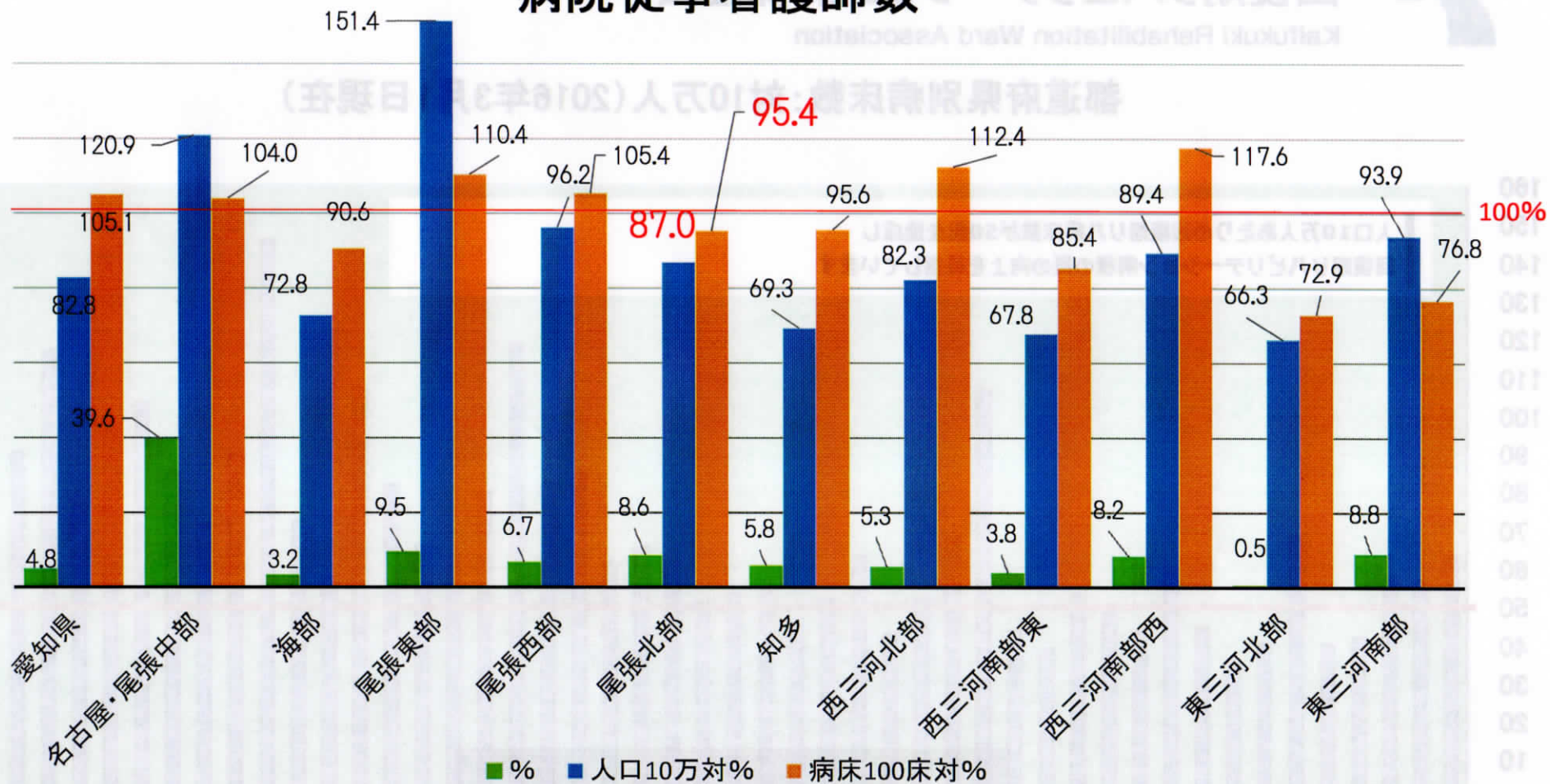
- ・ 人口10万対の病院等の医療施設数、病床数は全国平均と比較すると、人口10万対で66～74%と低い水準にあります。
- ・ 医療施設従事者数においても人口10万対において医師が87%、看護師が83%と少ない状況ですが、病床100床対で比較しますと、全国平均より上回っています。
- ・ 救命救急センター数は22と、東京都について2番目の設置数となっています。11の診療圏に中核となるような大規模病院が存在し、適度な医師と看護師配置による効率的な病院運営がなされていることの反映だと考えます。トータルでの病床が少なくても、救急の応需率は高く、現着から搬送時間も少ないことから、愛知県では少ない資源で有効な医療が提供されていると推測されます。

## 医療施設従事医師数



人口10万対の医師数を診療圏ごとで比較しますと、尾張北部は東三河北部、西三河南部東、知多、海部よりは若干多いのですが、10万対の割合で75.8%と低いことがわかります。大学病院が存在する名古屋と尾張東部は別格ですが、病床数あたりで検討しても、東三河南部、東三河北部、西三河南部東について低く、尾張北部の医師数が充足しているとは考えにくいと思われます。

# 病院従事看護師数



看護師数は病院の基準看護の設定状況により強く影響されると思われます。病床数あたりの看護師数は、東三河北部、東三河南部、西三河南部東で明らかに少なく、5診療圏では全国平均より多くの看護師が従事しています。しかし、尾張北部の看護師数は95.4%と全国平均よりも下回っています。東三河南部と北部は回復期・慢性期病床が多いため、病床数対の看護師数が極端に低いと思われます。以上の結果から、尾張北部の看護師数は人口10万対においても病床数対においても充足しているとはいえない状況です。

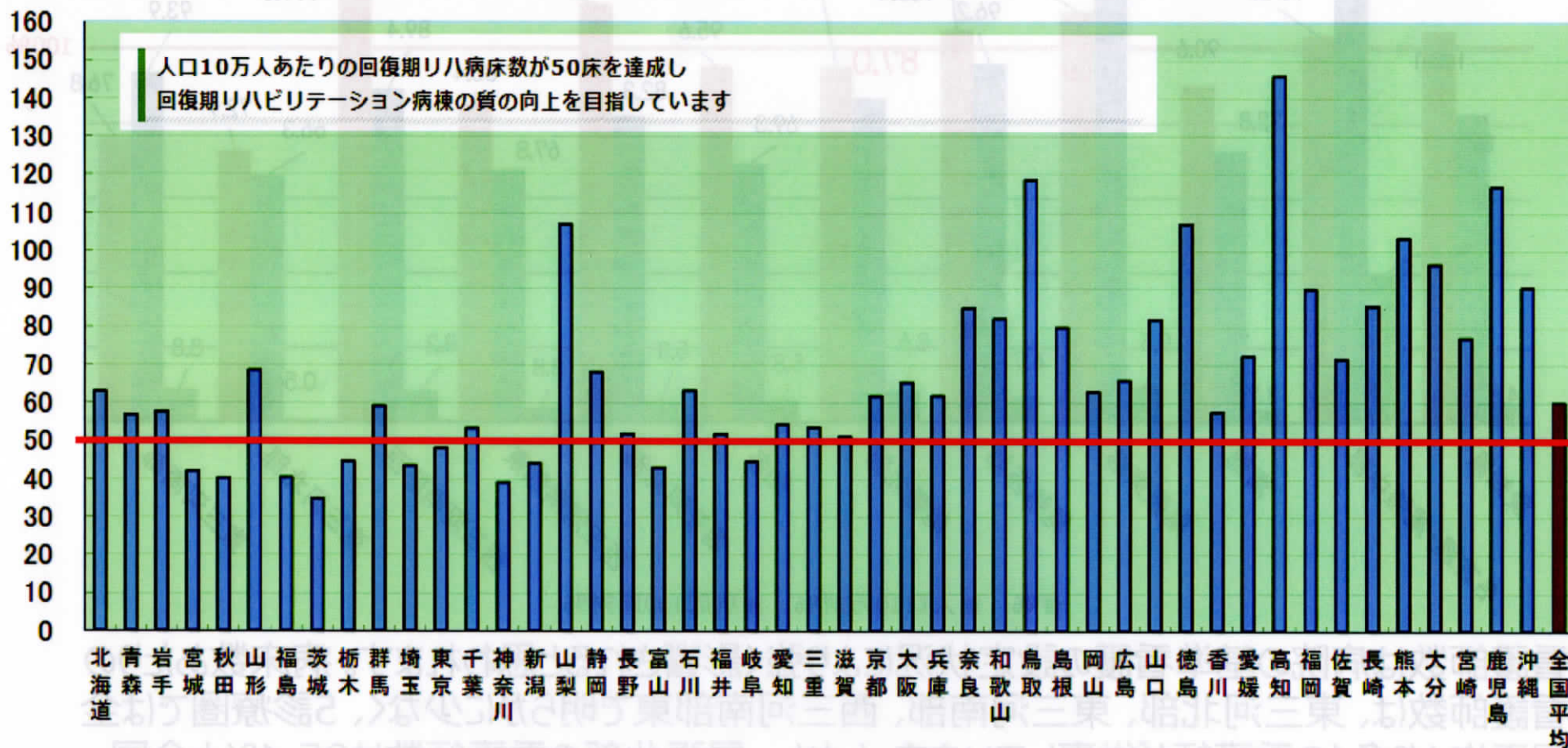


一般社団法人

回復期リハビリテーション病棟協会

Kaifukuki Rehabilitation Ward Association

### 都道府県別病床数: 対10万人(2016年3月1日現在)

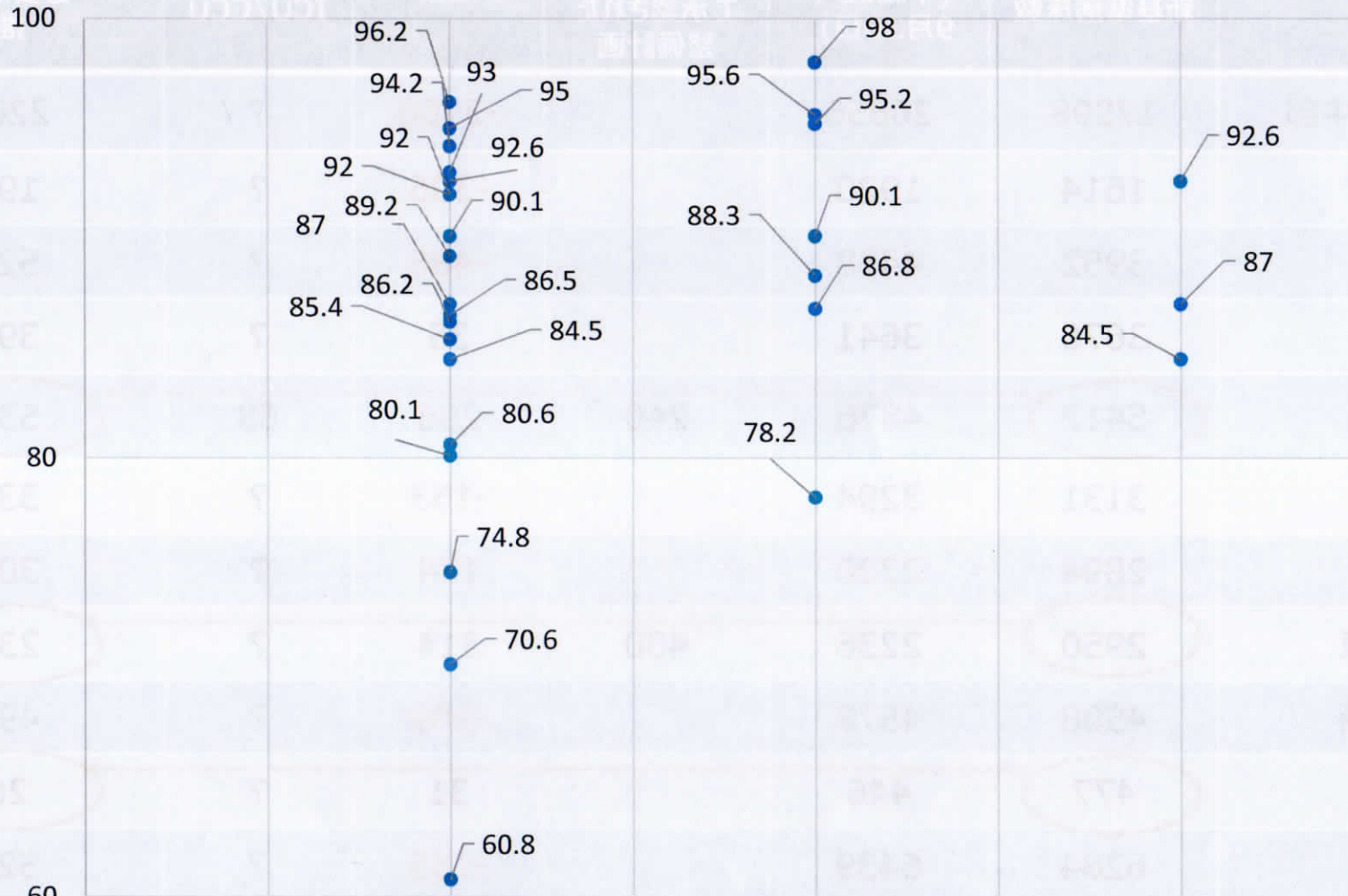


回復期リハ協会の資料ですが、通常人口10万対50床が標準的な配置とされています。愛知県は既に50床以上の配置がなされています。

	平成28年 新基準病床数	既存病床数 (平成28年 9月30日)	平成28年度 第2回受付分 で承認された 整備計画	残数	無菌・ ICU/CCU	平成37年 必要病床数 推計
名古屋・尾張中部	17898	20856		-3166	?	22039
海部	1614	1920		-306	?	1981
尾張東部	3952	4438		-486	?	5268
尾張西部	3676	3641		35	?	3922
尾張北部	5412	4876	240	296	68	5385
知多半島	3131	3294		-163	?	3310
西三河北部	2894	2720		174	?	3064
西三河南部東	2950	2236	400	314	?	2325
西三河南部西	4508	4572		-109	?	4998
東三河北部	477	446		31	?	267
東三河南部	6284	6439		-155	?	5214
愛知県合計	52796	55483	640	-3327	?	57773

現時点で基準病床数より既存病床数が下回っているのは5医療圏で100以上残っているのは3医療圏です。しかし、大きく不足しているとされる尾張北部と西三河南部東は、平成37年の推計では病床数が削減されている地域でもあります。

# 尾張北部に存在する病院の病床稼働率（平成28年度）



稼働病床全体  
85.8%  
19病院

回復期リハ  
90.3%

500床以上病院  
88.0%

尾張北部の病院の稼働率です。需給状況が逼迫しているとは考えにくい結果です。